

令和6年度佐久市人権同和教育推進協議会次第

日時:令和6年6月5日(水)

午前10時～11時30分

場所:佐久市役所 南棟3階会議室

1 開 会 (10:00～10:03)

2 教育長あいさつ (10:03～10:08)

3 自己紹介 (10:08～10:30)

4 会長・副会長選出 (10:30～10:35)

5 会長あいさつ

6 会議事項 (10:35～11:28)

(1)令和5年度 人権同和教育事業報告について (5分)

(2)令和6年度 人権同和教育事業計画について (5分)

(3)「長野県水平社創立100年」DVD 視聴 (27分)

(4)その他(研修会等案内) (5分)

7 閉 会 (11:28～11:30)

佐久市人権同和教育推進協議会委員名簿【HP用】

任期:令和5年11月1日から令和7年10月31日まで

	ふ り が な 名 前	所 属 等	備考
1	はら ひでまさ 原 英正	識見を有する者	
2	こばやし みつお 小林 光男	行政機関及びその関係団体の代表者	
3	いそがい おさむ 磯貝 修	行政機関及びその関係団体の代表者	
4	おざわ とりよ 小澤 酉代	教育機関及びその関係団体の代表者	
5	やなぎさわ れいこ 柳澤 礼子	教育機関及びその関係団体の代表者	
6	しらとり よしふみ 白鳥 貴文	教育機関及びその関係団体の代表者	
7	ほりごめ ひでかず 堀籠 英和	教育機関及びその関係団体の代表者	
8	しもじま ひろのぶ 下島 浩伸	教育機関及びその関係団体の代表者	
9	やまうら れいいち 山浦 励一	識見を有する者	
10	しげの よしあき 重野 吉祥	行政機関及びその関係団体の代表者	
11	たけしげ ともゆき 竹重 知幸	識見を有する者	
12	きうち ともか 木内 朋華	識見を有する者	
13	つちや ただし 土屋 正	行政機関及びその関係団体の代表者	
14	こいけ たつり 小池 竜昇	教育機関及びその関係団体の代表者	
15	おくむら しげこ 奥村 繁子	教育機関及びその関係団体の代表者	
16	まつい ともり 松井 朋憲	教育機関及びその関係団体の代表者	
17	みやはら ひでとし 宮原 秀敏	識見を有する者	
18	はしもと てるみ 橋本 輝己	識見を有する者	
19	おかもと よしひさ 岡本 佳久	識見を有する者	

令和5年度 人権同和課 人権同和教育事業報告

1 就学前における人権同和教育

事業名	事業内容	実施期間	実施場所	対象	参加者等	前年度実績
(1) 就学前人権同和教育研修会	ア 保育所等の保護者・保育士等を対象に研修会を開催。	9月8日～3日間	配信	保護者・保育士等	8人	開催なし

2 学校における人権同和教育

事業名	事業内容	実施期間	実施場所	対象	参加者等	前年度実績
(1) 学校人権同和教育推進事業	ア 学校教育計画の中に人権同和教育を明確に位置づけ、人権同和教育推進のため、学事職員会を通じ各学校に委託料を支出し研修会等を実施。	年間計画に基づき実施	各小・中学校	小・中学校教職員	437人	460人
(2) 人権同和教育研究委員会事業	ア 各学校との連携を保ち推進体制の強化を図る。 イ 地域及び児童・生徒の実態に即した人権同和教育推進のあり方について研究。 ウ 学事職員会を通じ各学校に委託料を支出し、人権同和教育研究事業等を実施し、実践資料等を作成。	年間	学事職員会	小・中学校教職員	2,576人	2,924人
(3) 補助教材配本事業	ア 小学1・3・5年生、中学1年生の人権同和教育を充実させるため、学習教材として副読本「あけぼの」を配布。	5月	各小・中学校	児童、生徒、教職員	21校 3,510冊	24校 3,578冊
(4) 教職員人権同和教育研修会事業	ア 人権同和教育の充実を図るために、学校教職員を対象に研修会を実施。	7月27日 長野県犯罪被害者遺族自助グループ「つむぐ」世話人代表 大塚清美氏	佐久市佐久平交流センター	小・中学校教職員	135人	173人
(5) 新任・転入教職員人権同和教育研修会事業	ア 人権同和教育の充実を図るため、新任・転入学校教職員を対象に研修会を実施。	5月22日 推進員 原英正氏	創練センター	小・中学校教職員	86人	151人
(6) PTA人権同和教育研修会事業	ア PTAで人権同和教育の研修会を実施。 イ 各小中学校での保護者参観日等に講演会や研修会を実施。	年間計画に基づき実施	各小・中学校	児童、生徒、保護者、職員	5,747人	6,693人
(7) 人権同和少年教育促進事業	ア 解放子ども会（教科学習、解放学習） 望月解放子ども会 会員24名（小学生20名・中学生4名）（指導員、小中学校教諭）	週1回	望月人権文化センター	解放子ども会会員等	小学生16回 中学生9回 延234人	小学生15回 中学生17回 延211人
	イ 地域との交流会	8月2日	望月人権文化センター	解放子ども会会員等	40人	中止
	ウ 野外学習	8月9日	臼田宇宙空間観測所ほか	解放子ども会会員等	27人	中止
	エ いのちの駅伝（望月地区内を駅伝し、メッセージを小・中・高校、市長、小中学校長会理事長へ直接届ける。後日、市内全小中学校へメッセージを伝達）	10月14日	望月地区	解放子ども会会員、望月小・中、長野西高等学校望月サテライト校、指導委員等	69人	102人
(8) 学校における人権同和教育への支援体制	ア 学校での人権同和教育を支援するため、希望する学校へ佐久市人権同和教育推進員を派遣する。	随時	各小・中学校	各小・中学校	0人	0人

3 地域における人権同和教育

事業名	事業内容	実施期間	実施場所	対象	参加者等	前年度実績
(1) 巡回研修事業	ア 市内各区へ人権同和学习会の開催を文書で依頼。 イ 人権同和教育推進員26名により各区での人権学習、研修、懇談会を実施。 ウ 機会人権同和教育研修会の実施。	随時	主に各地区の公会場等で開催	地区市民、施設職員等	10回 301人	11回 313人
(2) 人権同和教育講座	ア 同和問題をはじめあらゆる人権問題の解決に向け、市民の正しい理解と認識を育むために実施。（隔年7地区）	8月31日 9月7日 9月14日 9月21日 9月28日 10月5日 10月12日 10月19日 同和問題：東信教育事務所 中村哲氏 一般人権：推進員 井出眞一氏、浅川桂氏	臼田地区 中込地区 浅科地区 東地区	地区市民 地区市民 地区市民 地区市民	57人 43人 38人 29人 合計167人	野沢地区41人 望月地区21人 浅間地区56人 合計118人
(3) 一般啓発事業	ア 公民館報「さくし」に「人権シリーズ」を掲載 イ 視聴覚教材（人権啓発DVD等166本）の利用呼びかけ ウ 各種大会への参加、呼びかけ等 エ 人権啓発資料の提供	随時	広報誌ほか	市民	8回	10回
(4) 人権同和教育学級事業	ア 同和地区住民を対象に各支部単位で実施。	随時	各集会所	支部住民	4支部 36人	3支部 35人
(5) 集会所研修事業	ア 同和地区住民を対象に各支部単位で実施。 （生け花、舞踊、料理、手芸、生活改善等学習）	随時	各集会所	支部住民	7集会所	8集会所
(6) 人権・男女共生フェスティバル	ア 市民を対象に人権意識の高揚を図り、人権尊重と男女共生のまちづくりを目指して実施。	11月18日 居場所を奪われた犯罪被害者 市川武範氏	コスモホール	市民	186人	228人

4 企業における人権同和教育

事業名	事業内容	実施期間	実施場所	対象	参加者等	前年度実績
(1) 企業人権同和教育推進事業	ア 佐久市企業人権同和教育推進連絡協議会の総会及び研修会を実施。	6月（書面）	研修DVD送付	会員企業125社	125社	6人 (配信研修)
	イ 小学5年生から人権啓発標語を募集。優秀賞受賞作品（3点）の短冊ポスターを作成。会員企業、小・中学校、公共施設等に配布。優秀賞受賞作品3点の作者を、人権・男女共生フェスティバル内で表彰。	6月（標語募集）	人権・男女共生フェスティバルにて表彰	小学5年生	13校 133人	17校 160人
	ウ 佐久市企業人権同和教育推進連絡協議会主催 企業人権教育研修会を実施。	1月	人権教育啓発冊子等送付	会員企業125社	125社	26人
	エ 佐久市職員人権同和教育研修会を実施。（総務課主催）	1月17日 長野県犯罪被害者遺族自助グループ「つむぐ」世話人 市川武範氏	8階大会議室	職員	150人	80人

令和5年度人権教育実施状況調査

1 実施時間数について

課 題		実 施 区 分	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
①女性		各教科	0	0	4	4	3	8.5	9	5	7
		特別の教科 道徳	0	1	2	4	2	4	2	3	3
		上記以外の時間	1	1	3	3	2	1	2	2	1
②子ども	いじめ	各教科	1	2	1	7	20	5	2	3	2
		特別の教科 道徳	56	52	51	35	37	28	22	18	15
		上記以外の時間	8	23	7	18	13	16	8	7	6
	児童虐待、子どもの権利等	各教科	2	0	0	1	0	4	6	8	5
		特別の教科 道徳	4	4	7	8	10	11	2	2	3
		上記以外の時間	1	1	1	6	2	4	3	4	2
③高齢者		各教科	1	0	1	0	0	0	0	2	3
		特別の教科 道徳	9	10	22	15	13	11	11	3	4
		上記以外の時間	0	1	0	1	0	0	3	3	3
④障がい者		各教科	1	0	1	2	0	4	2	2	7
		特別の教科 道徳	8	7	16	13	15	12	10	6	5
		上記以外の時間	3	8	5	5	5	9	6	6	12
⑤同和問題		各教科	0	0	0	0	0	11	1	5	5
		特別の教科 道徳	3	2	4	4	6	14	5	9	10
		上記以外の時間	1	0	0	0	0	3	3	13	9
⑥アイヌの人々		各教科	0	0	0	0	1	7	0	5	5
		特別の教科 道徳	0	0	1	0	0	1	0	1	0
		上記以外の時間	0	0	0	0	0	1	0	1	0
⑦外国人		各教科	1	0	1	3	3	8	5	23	24
		特別の教科 道徳	9	7	12	13	9	9	6	3	3
		上記以外の時間	1	2	2	6	3	2	2	2	2
⑧	HIV感染者等	各教科	0	0	0	0	0	2	0	0	5
		特別の教科 道徳	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		上記以外の時間	0	0	0	0	0	0	0	2	1
	ハンセン病元患者等	各教科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		特別の教科 道徳	0	0	0	0	6	4	0	0	3
		上記以外の時間	0	0	0	0	0	0	1	4	2
⑨刑を終えて出所した人		各教科	0	0	0	0	1	1	0	1	2
		特別の教科 道徳	0	0	1	0	0	1	0	0	0
		上記以外の時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩犯罪被害者等		各教科	0	0	0	0	2	0	0	0	1
		特別の教科 道徳	0	0	0	0	0	2	0	0	0
		上記以外の時間	0	1	4	0	2	0	0	0	0
⑪インターネット・携帯電話等による人権侵害		各教科	3	5	5	3	20	10	2	2	6
		特別の教科 道徳	2	3	11	10	15	14	8	11	5
		上記以外の時間	7	5	7	11	12	13	12	10	11
⑫北朝鮮当局による拉致被害者等		各教科	0	0	0	0	0	2	0	0	2
		特別の教科 道徳	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		上記以外の時間	0	0	0	0	0	1	0	0	0
⑬その他	性的指向、性自認等	各教科	0	0	0	3	2	3	4	0	1
		特別の教科 道徳	0	1	2	2	0	0	1	0	3
		上記以外の時間	3	2	2	2	5	7	3	4	6
	新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見防止	各教科	1	2	2	1	1	1	1	0	0
		特別の教科 道徳	0	0	1	1	1	0	2	0	1
		上記以外の時間	6	2	6	5	3	3	1	2	1
	ホームレスの人権、人身取引	各教科	0	0	0	0	0	1	0	1	1
		特別の教科 道徳	0	5	3	0	1	0	0	0	0
		上記以外の時間	0	0	0	0	0	0	0	2	0
		上記以外の時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭人権一般 (生命尊重、自尊感情、コミュニケーション能力等)		各教科	19	39	4	11	15	14	9	5	7
		特別の教科 道徳	148	93	115	103	122	88	12	21	17
		上記以外の時間	10	17	13	22	15	25	9	6	5
合計欄		各教科の合計	29	48	19	35	68	81.5	41	62	83
		特別の教科 道徳の合計	239	185	248	208	237	200	81	78	72
		上記以外の時間の合計	41	63	50	79	62	85	53	68	61

校種・経験年数に関わらず
どなたでもO.K!

受けたい講座のみでも
O.K!

「同和問題について、授
業をする自信がない…」
「もう一度学びたい」
そのような方にお勧めです



部落問題を知ろう・語ろう

第1回【実践編】部落問題とは何か
第7回【実践編】部落問題に立ち向かっ
ている方のお話
~~第8回【リフレクション（オンライン）】~~
※9月19日実施済

いつでも学べる！学び直せる！

7月21日から1月31日
まで開講

同和問題ミニ講座（全8回）

実践に学ぼう



- 第2回【実践編】部落の子どもと関わり
続けた教師の証言
- 第3回【実践編】追究の手がかりになる
授業実践（小学校）
- 第4回【実践編】追究の手がかりになる
授業実践（中学校）

しかも講座は1回20分の
オンデマンド配信
期間中、ちょっとした空き時間に
何度でも聞くことができます

【申し込み方法】
右の二次元コード
からGoogle Forms
にてお申し込み
ください



【申込随時受付中】

申し込まれた方には、動画のURL等を
お知らせします



知識を深めよう

- 第5回【知識編】部落差別の起こりと人々
の暮らし
- 第6回【知識編】たった一人で京都に向か
った青年
～小山薫が追い求めたもの～

<問合せ> 長野県教育委員会事務局心の支援課 担当:尾台 徳永
電話 026-235-7450 FAX 026-235-7484 E-mail kokoro-j@pref.nagano.lg.jp

令和6年度 人権同和課 人権同和教育事業計画

目標

<就学前における人権同和教育>

1 保育所・幼稚園等においては、保護者・保育士等を対象に、人権課題について正しく理解するための各種研修会を開催し、知識の普及と人権意識の高揚を図ります。

2 家庭と保育所・幼稚園・地域等が一体となり、子どもの「思いやりの心」を育てます。

<学校における人権同和教育>

1 基本的人権を尊重し、現代社会に根強く存在する部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすことをめざします。

2 学校内の人権同和教育推進の体制を確立するとともに、諸条件の整備を図ります。

3 同和地区児童、生徒等の学力の向上や進路指導の徹底と就学・進学に努めます。

<地域における人権同和教育>

1 地域における人権同和教育においては、人権意識の高揚を図り、すべての市民が人権尊重に徹した基本理念を踏まえ、自らの問題として部落差別の撤廃をはじめあらゆる差別をなくすために、関係機関および関係諸団体との連携を密にして実践的教育活動を推進します。

2 人権同和教育の地域拠点施設として、同和対策（教育）集会所の管理運営に努めます。

<企業における人権同和教育>

1 企業での公正採用と就職差別の撤廃に向けて、関係機関との連携による取り組みを促進します。

2 人権啓発資料の配布や、DVD等の貸出しによる啓発活動の充実を図ります。

3 関係機関と連携し、より多くの学習機会の確保に努め、人権同和教育の推進を図ります。

1 就学前における人権同和教育

事業名	事業内容	実施期間	実施場所	対象
(1) 就学前人権同和教育研修会	ア 保育所等の保護者・保育士等を対象に研修会を開催。	6月8日	交流文化館浅科	保護者・保育士等

2 学校における人権同和教育

事業名	事業内容	実施期間	実施場所	対象
(1) 学校人権同和教育推進事業	ア 学校教育計画の中に人権同和教育を明確に位置づけ、人権同和教育推進のため、学事職員会を通じ各学校に委託料を支出し研修会等を開催。	年間計画に基づき実施	各小・中学校	小・中学校教職員
(2) 人権同和教育研究委員会事業	ア 各学校との連携を保ち推進体制の強化を図る。 イ 地域及び児童・生徒の実態に即した人権同和教育の推進のあり方について研究。	年間	学事職員会	小・中学校教職員
(3) 補助教材配本事業	ア 小学1・3・5年生、中学1年生の人権同和教育を充実させるため、学習教材として副読本「あけぼの」を配布。	5月	各小・中学校	児童、生徒、教職員
(4) 教職員人権同和教育研修会事業	ア 人権同和教育の充実を図るために、学校教職員を対象に研修会を開催。 イ 人権同和教育の実践発表。	7月30日	市役所南棟3階会議室	小・中学校、高校教職員
(5) 新任・転入教職員人権同和教育研修会事業	ア 人権同和教育の充実を図るため、新任・転入学校教職員を対象に研修会を開催。	5月20日	佐久平交流センター	小・中学校、高校教職員（新任・転入）
(6) PTA人権同和教育研修会事業	ア PTAで人権同和教育の研修会を実施。 イ 各小中学校での保護者参観日等に講演会や研修会を開催。	年間計画に基づき実施	各小・中学校	児童、生徒、保護者、職員
事業名	事業内容	実施期間	実施場所	対象
(7) 人権同和少年教育促進事業	ア 解放子ども会（教科学習、解放学習） 望月解放子ども会 会員20人程度（予定） （小学生・中学生） （指導員、小中学校教諭）	週1回	望月人権文化センター	解放子ども会会員等
	イ 地域との交流会	7月31日	望月人権文化センター	解放子ども会会員等
	ウ 野外学習	8月7日	望月少年自然の家	解放子ども会会員等
	エ いのちの駅伝 （望月地区内を駅伝し、メッセージを小・中・高校、市長、小中学校長会理事長へ直接届ける。 後日、市内全小中学校へメッセージを伝達）	10月5日	望月地区	解放子ども会会員、望月小・中・高校、指導委員等
(8) 学校における人権同和教育への支援体制	ア 学校での人権同和教育を支援するため、希望する学校へ佐久市人権同和教育推進員を派遣する。	随時	各小・中学校	小・中学校教職員

3 地域における人権同和教育

事業名	事業内容	実施期間	実施場所	対象
(1) 巡回研修事業	ア 市内各区へ人権同和学习会の開催を文書で依頼。 イ 人権同和教育推進員26名により各区での人権学習、研修、懇談会を開催。 ウ 機会人権同和教育研修会を開催。	随時	各地区の公会場および施設等で開催	地区市民、施設職員等
(2) 人権同和教育講座	ア 同和問題をはじめあらゆる人権問題の解決に向け、市民の正しい理解と認識を育むために開催。 (浅間、野沢、望月地区)	9月5日 9月12日	浅間地区 浅間会館	地区市民
		9月19日 9月26日	野沢地区 野沢会館	地区市民
		10月3日 10月10日	望月地区 駒の里ふれあいセンター	地区市民
(3) 一般啓発事業	ア 公民館報「さくし」に「人権シリーズ」を掲載 イ 視聴覚教材（人権啓発DVD等166本）の利用呼びかけ ウ 各種大会への参加、呼びかけ等 エ 人権啓発資料の提供	随時	広報誌ほか	市民
(4) 人権同和教育学級事業	ア 同和地区住民を対象に各支部単位で開催。（人権同和教育学習会、懇談会等）	随時	各集会所	支部住民
(5) 集会所研修事業	ア 同和地区住民を対象に各支部単位で開催。 (生け花、舞踊、料理、手芸、生活改善等学習)	随時	各集会所	支部住民
(6) 人権・男女共生フェスティバル	ア 市民を対象に人権意識の高揚を図り、人権尊重と男女共生のまちづくりを目指して開催。講演会、隣保館事業成果発表、人権啓発標語表彰式。	11月17日	佐久平交流センター	市民

4 企業における人権同和教育

事業名	事業内容	実施期間	実施場所	対象
(1) 企業人権同和教育推進事業	ア 佐久市企業人権同和教育推進連絡協議会の総会及び研修会の開催。	6月	総会(書面決議)	会員企業
	イ 小学5年生から人権啓発標語を募集。優秀賞受賞作品(3点)の短冊ポスターを作成。会員企業、小・中学校、公共施設等に配布。優秀賞受賞作品3点の作者を、家族映画会内で表彰。	6月(予定) (標語募集)		小学5年生
	ウ 佐久市企業人権同和教育推進連絡協議会人権啓発研修会の開催。	2月(予定)	未定	会員企業
	エ 佐久市職員人権同和教育研修会を開催。(総務課主催)	1月(予定)	未定	市職員

令和6年度 研修等開催日程表

日付	曜日	時間	研修・会議名	講師	内容	会場
6月25日	火	未定	東信地区社会人権教育研修会	全体講演 木村真三 氏(獨協医科大学准教授 国際疫学研究室福島分室室長)	ハンセン病問題	佐久平交流センター
7月29日	月	未定	東信地区社会人権教育研修会(スキルアップ講座)	うえだ子どもシネマクラブ	子どもの人権	現地研修 上田映劇
7月30日	火	15:30～16:45	佐久市教職員人権同和教育研修会	小諸市平原解放子ども会指導員 富田多恵子 氏	はっついさんに出会えて	市民創録センター
9月5日	木	18:30～20:00	佐久市人権同和教育講座(浅間)一般人権	人権同和教育推進員 春原 直美 氏	外国人の人権	浅間会館会議室1・2
9月12日	木	18:30～20:00	佐久市人権同和教育講座(浅間)同和問題	東信教育事務所生涯学習課 中村哲 氏	同和問題	浅間会館会議室1・2
9月19日	木	未定	第47回長野県同和教育研究大会	未定	未定	長野県総合教育センター(塩尻市)
9月19日	木	18:30～20:00	佐久市人権同和教育講座(野沢)一般人権	人権同和教育推進員 春原 直美 氏	外国人の人権	野沢会館会議室1・2
9月26日	木	18:30～20:00	佐久市人権同和教育講座(野沢)同和問題	東信教育事務所生涯学習課 中村哲 氏	同和問題	野沢会館会議室1・2
10月3日	木	18:30～20:00	佐久市人権同和教育講座(望月)一般人権	人権同和教育推進員 春原 直美 氏	外国人の人権	駒の里ふれあいセンター会議室1・2
10月5日	土	7:30～	解放子ども会「いのちの駅伝」		望月小・中、望月サテライト校にて伝達式	望月人権センター、駒の里
10月8日	火	8:30～17:00	重監房資料館 視察研修	施設職員	視察	草津町 重監房資料館
10月11日	金	未定	東信地区社会人権教育研修会(スキルアップ講座)	未定	部落差別	視察研修 五郎兵衛記念
10月10日	木	18:30～20:00	佐久市人権同和教育講座(望月)同和問題	東信教育事務所生涯学習課 中村哲 氏	同和問題	駒の里ふれあいセンター会議室1・2
11月5日	火	10:00～12:00	佐久市人権同和教育推進員会議②		小学5年生人権啓発標語選考	南棟3階会議室
11月17日	日	13:00～16:40	人権・男女共生フェスティバル	監督 川本貴弘氏、古川正博氏(映画「かば」製作委員会 共同代表・大阪市立鶴見橋中学校元教員、(公社)全国人権教育研究協議会前事務局長)	映画「かば」上映、講演	佐久平交流センター
12月7日	土	7:30～	もちづき＆子ども人権フェスティバル	未定	未定	望月人権文化センター
12月20日頃		未定	部落解放研究集会	未定	未定	未定

手話通訳・
要約筆記あり



全部の生徒に優しい先生でいてあげてね

かば 川本貴弘 1985年、大阪西成。何にも動じず、何にも屈しない、教師(達)がいた!!
監督作品 2万人以上が完成を待ち望んだ、実話に基づく《80'熱血青春エンタテインメント》!

1985年、バブル景気を迎える日本に、世の中の矛盾が集まったような地域があった。大阪西成区。出自、偏見、校内暴力、すさんだ家庭……過酷な環境の中でよりよい明日を夢見て、悩み、苦しみ、しかしたくましく生き方を模索するたくさん子どもたちがそこにいた。彼らと向き合い、正面からぶつかった実在の教師・蒲益男(かば・ますお 2010年に58歳で死去)を知った監督は、2年半にわたる取材を経て2017年にパイロット版を製作。2万人を超える人々からの完成を望む声に押されて企画から7年、ついに映画は完成。ソーシャルディスタンスが叫ばれる未曾有の混乱の今、真の人間同士のつながりとは何か、これからの時代を生きるヒントがこの映画にはある。蒲先生を演じるのは自身も大阪出身である山中アラタ。ヒロインの新米教員を映画初主演となる折目真穂。もうひとりのヒロインであるかつての教え子にNMB48を卒業後、女優として活動中の近藤里奈。共演に木村知貴、石川雄也、四方堂亘らの実力派に加えて関西演劇界から鼓美佳、浅難拓、山本香織らが参加、さらにアニメ『ジャリン子チエ』のチエ役でもおなじみ中山千夏が賛助出演している。

COMMENT

思春期の頃、この映画に登場する子どもたちと同じ境遇の級友たちがいた。

あるとき、私の言動がもとで、級友たちに弾劾され、私はレイシストなんだと気づかされた。

この作品を観たときに、その記憶が蘇り、背筋がぞっとした。いまでも残る風景。子どもたちは、子どもたちだけで、気づいていく。周りのおとなたちは、子どもたちが気づいたことにすら気づかない。が、この「かば」せんせいたちは、そんな子どもたちの気づきの場に立ち会いたい、かかわりたいと思う。そして、いつのまにか、子どもたちに心動かされる。テーマはそこへと収斂していき、おとなたちの願望で子どもたちをえがく一方的な教育映画とは一線を画す。「かば」は、社会的でありながら、笑えて、涙して、捻れや断絶に打ち克っていくその道行きが絶妙で、とても映像的で、美しい。みんな、観ないと!

阪本順治 (映画監督)



弱敗してクソまみれの世の中で押し潰されそうになりながらも奮闘して生きている。実在のかば先生たちや中学生たちに対して、作り手の優しく、かつ慈愛に満ちた眼差しに触れて、私は幾度も涙を流してしまった。孫のような世代の作り手に対して失望感を抱いていた私だったが、この作品を観てもう一度、彼らに希望を託してみようと思えるようになった。この優しさこそが、狂ったニッポンを立て直す必須の条件だからだ。

原一男 (映画監督)

笑った。そしてパワフル。全員が主役の映画だ。西成区と大正区、木津川を挟んで在日や沖縄の人が多く住む土地。丹念に描かれた風景と生活が全員を主役押し上げる。かといって常に中心にいるわけでもない。他者を前にして脇にも回る。現実がそんなのだ。主役中心の世界なんてない。この映画のように、人は人を支えて生きている。

瀬々敬久 (映画監督)



初めて大阪を、大人や子どもを丸裸にした映画か。井筒和幸 (映画監督)



2021年 日本 2時間15分 DCP

申込期間 10月1日(火)8:30~11月8日(金)17:15

定員 300名(先着・事前申込制)

申込方法 佐久市公式LINE(イベント予約)又は電話により、氏名・住所・電話番号・参加人数をお申込みください。(電話での受付は平日8:30~17:15)(1回の申込みで最大4名まで)